

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年1月15日			
平成15年度	事業コード	12110	電話	042(769)8345
担当部課名	保健所	地域保健	課	母子保健企画 班
事務事業名	母子保健計画作成事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	地域保健対策の充実	14年度
施策名	第1施策	総合的な地域保健医療体制の確立	

## 2 実施根拠及び関連法令等

平成13年厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知 雇児母発第46号
---------------------------------------

## 3 事務の区分

自治事務	その他の経費	市単独事業	なし
------	--------	-------	----

## 4 経費の区分

## 5 事務事業の分類

## 6 受益者負担

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
平成9年度に策定した「母子保健計画」を見直し、20世紀中に達成しきれなかった乳幼児の事故死や予防接種の問題、さらに深刻化することが予測される児童虐待や思春期保健の問題など、新たな課題を盛り込み取り組みます。計画の内容を広く市民の方々に周知し、家庭や地域、保健、医療、福祉、教育などの行政・関係機関・関係団体等が一体となって本計画の推進に取り組むことが不可欠です。	市民全体 特に、乳幼児及びその保護者、思春期にある者及びその保護者、妊産婦等
	対象数 300,000
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
母子保健計画作業部会18回開催 母子保健事業推進協議会開催3回 アンケート調査実施3,746人(乳幼児保護者調査、小学生調査、中学生調査、高校生調査、小・中・高生保護者調査)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 母子保健計画	本計画は、平成14年度策定したみんな元気「さがみはら健康プラン21」における母子保健分野の計画として位置付け、具体的な
計画年次 15年度～22年度	取組に向けての目標設定をしています。

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	「すこやか親子さがみはら21」の指標に準ずる							
活動指標	「すこやか親子さがみはら21」の指標に準ずる							

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費			315		
決算(予算)額			315		
人員・時間数			2,000		
人件費			8,320		
その他経費					
合計	0	0	8,635	0	0
特定財源			0		
対象数			300,000		
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	本計画は、みんな元気「さがみはら健康プラン21」(相模原市保健医療計画)における母子保健分野の計画として位置付け、具体的な取組に向けての目標設定をしたことにより、母子保健分野における取り組むべき方向が明確となった。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 20世紀に達成し切れなかった乳幼児の事故や予防接種の問題、さらに深刻化することが予想される児童虐待や思春期保健などの新たな課題に対し取り組むために必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	本計画は、みんな元気「さがみはら健康プラン21」(相模原市保健医療計画)における母子保健分野の計画として位置付けられている。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	印刷製本費及びコンサル等の委託費を計上せずに、自前で作成しており、他市の計画に比べて著しく安価で製作できた。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 本計画の計画年度は平成15年度から平成22年度までの8年間であるが、中間時に見直すこととしている。その時点で計画の修正を行なうことができ、計画の内容の充実をさらに図ることができる。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		本市のように母子保健計画として策定している自治体、母子保健を子育ての計画の一部として策定している自治体、母子保健を地域医療の計画の一部として策定している自治体がほぼ同じ位の比率である。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	母子保健は生涯を通じて健康でゆたかな人生を送るための出発点であり、また、次の世代を健やかに産み育てるための基礎となるものである。したがって、20世紀に達成し切れなかった乳幼児の事故や予防接種の問題、さらに深刻化することが予想される児童虐待や思春期保健などの新たな課題に対し取り組むために必要であり、本計画を策定する意義は極めて大きい。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--